ヒトと動物の関係学会 第 31 回総会資料

総会議題

1号議案 2024年次事業報告

2号議案 2024年次決算報告

3号議案 監查報告

4号議案 2025年次事業計画(案)

5 号議案 2025 年次予算 (案)

6号議案 その他

日時: 2025年3月9日(日)午後12時20分より

場所:東京農業大学 世田谷キャパス横井講堂

< 1 号議案> 2024 年次事業報告

- 1)2024年12月31日現在の会員数 正会員475名(内学生会員48名)名誉会員0名 賛助会員3団体・法人会員5団体
- 2) 学術大会の開催

第30回学術大会 2024年3月2日(土)・3日(日)

大会実行委員長 森山 緑 (慶應義塾大学アート・センター学芸員)

場所:慶應義塾大学 日吉キャンパス 来往舎1階 シンポジウムスペース

総参加人数:197名(会員:68名 非会員:129名(対面:128名 オンライン:69名))

① シンポジウム 3月2日(土)

「野生動物を護ること、殺すこと―狩猟と動物倫理を考える―」

コーディネーター:安田章人(九州大学 基幹教育院)

パネリスト:

- 1) 伊勢田哲治(京都大学 文学研究科 准教授)
- 2) 金森万里子(京都大学 人と社会の未来研究院 日本学術振興会特別研究員-PD)
- 3) 今井レイラ (PETA アジア)
- 4) 安田章人(九州大学 基幹教育院 准教授)

コメンテーター: 山越言(京都大学大学院・アジアアフリカ地域研究研究科 教授)

② シンポジウム 3月3日(日)

「よみがえる命 ― 知られざる剥製の世界」

コーディネーター: 若生謙二 (大阪芸術大学)

パネリスト:

- 1) 杉本惠司 (剥製師・アトリエ杉本 代表)
- 2) 佐藤真琴(剥製製作見習い・アトリエ杉本)
- 3) 森山 緑 (慶應義塾大学アート・センター学芸員)
- 4) 若生謙二(大阪芸術大学)
- ③ 学術大会口頭発表 21 題 (両日)

奨励賞1名

岡本 優芽(京都大学大学院理学研究科)

「ネコ (Felis catus) のゴロゴロ音は生まれつき? -アンドロゲン受容体遺伝子の解析から-」

④ 学術大会ポスター発表 9 題

ベストポスター賞1名

今井 涼音(岩手大学農学部共同獣医学科)

「新しい環境でのヒトとのふれあいがネコの行動と尿中コルチゾール値に及ぼす影響」

3) 研究会の開催

第132回例会「ウミウを捕る 全国の鵜飼を支える鵜捕り場の伝統と技術」

開催日:2024年9月7日(土) 場所:かみね動物園 どうぶつ資料館

日本で唯一、鵜飼いのための鵜の捕獲の場を持つ日立市ですが、その営みを支える方々の想い と技術には、動物と人の関係について文化的・歴史的に考えるにあたって、数々のかけがえのな い教えが孕まれていると考えます。

「ヒトと動物の関係学」は、そのような貴重な実践に学ぶ機会を得たく、第 132 回例会を開催 いたします。

講師 柴田勝典氏(ウミウ捕獲伝統技術保持者) 平田絢子氏(岐阜大学動物繁殖学研究室)

第133回例会 2024年動物観研究会公開ゼミナール「動物を殺すとき」

開催日:2024年12月1日(日) 場所:東京農工大学農学部 第一講義棟2階25番教室

① 一般発表

- 「昆虫採集の導入が日本の昆虫文化に与えた影響とカブトムシブームの背景」奥山友太、 佐渡友陽一(帝京科学大学)
- 「浅草寺日記からみる近世における動物見世物興行の実施形態」坂本響子(総合研究大学 院大学)
- 「1950~70 年代の日本における動物実験へ働きかけた社会運動の歴史」春藤献一(国際日本文化研究センター)
- 「遊び手player はいるが観客 audience はいない~ヒトと動物における「遊びの社会性」」 島田将喜(帝京科学大学)
- 「映像作品や芸術作品の構成素材としての野生動物」並木美砂子(帝京科学大学)
- 「動物処分の容認と拒否」河原真衣(桜美林大学大学院) 石田戢(動物観研究所)
- ② 特別テーマ「動物を殺すとき」
 - 「日本法に表れた動物観─「動物を殺すとき」に関する法律上の表現を 手掛かりにして─」

吉田聡宗(一橋大学社会科学高等研究院)

- 「動物の命との関係性を再考する: 畜産における生産・と畜・殺処分現場 からの視点」 寺内宏光 (寺内動物病院)
- 「日本の歴史が育んだ動物を殺すことへの不寛容と今日的意義」 佐渡友陽一(帝京科学大)

2024 地域シンポジウム

『心理療法における動物介在療法と倫理的視点』

開催日:2024年8月26日(月)

開催場所:東京都世田谷区駒沢

コーディネーター: 山本真理子(帝京科学大学)・門多真弥(帝京科学大学)

動物介在介入は日本にも浸透してきた取り組みである。病院に常勤するファシリティドッグや被虐特児支援に派遣される付添犬など、医療や福祉の場面で専門家と協同して行われる動物介在介入など、多様な実践が行われている。その一方で、動物福祉について、人々の意識が高まっており、IAHAIO 白書や補助犬国際組織の共同声明が示すとおり、実践においても動物福祉の重要性が認識さ

れている。そこで本シンポジウムでは、動物介在療法による実践、および、動物介在介入に関わる動物福祉を含む倫理的配慮をテーマに、実践に関わる専門家、ならびに哲学の専門家に話題を提供いただき、参加者とのディスカッションを通して本課題について考えたい。

「心理療法における動物介在療法」

Alon Wasserman (臨床心理士、治療の中に動物介在療法を取り入れている)

• 「動物介在介入に関する倫理的視点」

Tzachi Zamir (ヘブライ大学教授、専門は哲学、動物倫理)

• 「臨床を通してみてきた人と動物の関係」

横山章光(精神科医、動物人間関係学の研究に携わってきた)

通訳:柿沼美紀(日本獣医生命科学大学名誉教授、動物介在教育療法学会・前会長)

主催:ヒトと動物の関係学会 共催:あいわクリニック 協賛:就労移行支援事業所グディ

4)会議の開催

常任理事会 2024年3月2日(於慶應義塾大学)、6月29日(於慶應義塾大学)、

11月16日(於慶應義塾大学)

理事会 2024年3月3日

評議員会 2024年3月3日

編集委員会 随時メール審議

学術委員会 随時メール審議

5) 学会誌の発行

第 67 号発刊 2 月 550 部

第 68 号発刊 8 月 550 部

第 69 号発刊 12 月 550 部

動物観研究 29 号 12 月 750 部

< 2 号議案> 2024 年度決算報告

1. 会計報告 2024年12月31日現在

I、収入の部 (単位:円)

| 科目 | 2024年次決算 | 2024年次予算 | 予算比* | 備考 |
|----------------|-----------|-----------|------|-------------------------|
| 一般·学生会費 | 2,550,000 | 2,652,000 | 96% | のべ一般326名、学生26名 |
| 賛助・法人会費 | 160.000 | 250,000 | 64% | 賛助2、法人3 |
| 大会参加費 | 866,000 | 380,000 | 228% | 大会参加費(2025年31回大会参加費7名込) |
| 出版物売上 | 111.500 | 20,000 | 558% | 雑誌会員·学会誌売上 |
| 別刷費 | 0 | 0 | 0% | |
| 雑収入 | 122.430 | 0 | 0% | 寄付金、返金等 |
| 預貯金利子 | 0 | 0 | 0% | |
| 本年次収入合計 | 3.809,930 | 3.302.000 | 115% | |
| 前年次繰越額 | 1,452,884 | 822,554 | 177% | |
| 収入の部合計 | 5.262.814 | 4.124.554 | 128% | 本年次収入合計+前年次繰越額 |

Ⅱ、支出の部

| 科目 | 2024年次決算 | 2024年次予算 | 予算比 | 備考 |
|------------------|-----------|-----------|------|--------------------------|
| 学会誌制作・印刷・封入発送作業費 | 1,333,585 | 1,600,000 | 83% | 学会誌66・67・68および動物観研究No.29 |
| 学会ホームページ作成 | 330,000 | - | - | ホームページリニューアル2023未払分 |
| 小計 | 1,663,585 | 1,600,000 | 104% | |
| | | | | |
| 大会費 | 496,734 | 500,000 | 99% | 奨励賞賞品、パネリスト謝金、アルバイト謝金 |
| 地域シンポジウム・例会費 | 57,526 | 150,000 | 38% | 謝金等 |
| IAHAIO年会費 | 98,506 | 90,000 | - | IAHAIO年会費 |
| 小計 | 652,766 | 740,000 | 88% | |
| | | | | |
| 通 信 費 | 89,980 | 80,000 | 112% | HPサーバー利用料 |
| 郵 送 費 | 0 | 50,000 | 0% | 学会誌等郵送 |
| 小計 | 89,980 | 130,000 | 69% | |
| | | | | |
| 人 件 費 | 900,000 | 600,000 | 150% | 事務局代行費(2023年未払分含む) |
| 旅費交通費 | 151,660 | 250,000 | 61% | 理事会交通費 |
| 事 務 費 | 0 | 10,000 | 0% | 事務用品、梱包資材 |
| 雑費 | 3,630 | 10,000 | 36% | 振込手数料等 |
| 小計 | 1.055.290 | 870.000 | 121% | |
| 支出の部合計 | 3,461,621 | 3,340,000 | 104% | |
| 次年次繰越額 | 1,801,193 | 784,554 | 230% | |
| 支出の部合計 | 5,262,814 | 4.124.554 | 128% | |

* 予算に対する決算額(%)

2、会費納入状況

個人会員年会費納付状況(2024年12月31日現在) ※退会者は含まない

| 年次 | 会員数 | 納付者数 | 納付率 |
|-----------|-----|------|-------|
| 2022年次分会費 | 461 | 341 | 74.0% |
| 2023年次分会費 | 464 | 330 | 71.1% |
| 2024年次分会費 | 475 | 287 | 60.4% |

過去3年間の個人会員年会費納付状況(2024年12月31日現在)

| 年次 | 納付口数 | 納付金額 |
|---------|------|-----------|
| 2022年納付 | 351 | 2,263,000 |
| 2023年納付 | 318 | 2,002,000 |
| 2024年納付 | 323 | 2,550,000 |

賛助·法人会員会費納入状況(2024年12月31日現在)

| 年次 | 会員数 | 納付件数 | 納付率 |
|-------------|-----|------|--------|
| 2022年次 | 2 | 2 | 100.0% |
| 法人会員 | 5 | 5 | 100.0% |
| 2023年次 賛助会員 | 3 | 2 | 66.7% |
| 法人会員 | 5 | 2 | 40.0% |
| 2024年次 賛助会員 | 3 | 2 | 66.7% |
| 法人会員 | 6 | 3 | 50.0% |

<3号議案> 監査報告

2024年1月1日から12月31日までの2023年次における会計および業務の監査を行い、内容について適正であると認めたのでこれを報告する。

2025年1月27日

事



若生 謙二



< 4 号議案> 2025 年次事業計画(案)

1) 学術大会の開催

第31回学術大会

2025年3月8日(土)・9日(日)

場所:東京農業大学 世田谷キャンパス 横井講堂

対面とオンラインミーティング(Zoom) によるハイブリッド開催

① シンポジウム「30周年記念イベント シンポジウム」

演者:林 良博(ヒトと動物の関係学会初代会長、国立科学博物館顧問)

<司会 谷田創 (ヒトと動物の関係学会会長・広島大学) >

② シンポジウム「高齢化社会における飼い主とペットとの関係 -ヒトと動物が幸せな高齢期(老い)を迎えるためのヒント-|

コーディネーター:谷田創(広島大学)

パネリスト: 安野舞子(横浜国立大学)

吉本由美子 (NPO 法人ペットライフネット)

小池英梨子 (猫から目線)

若山三千彦 (社会福祉法人心の会)

学術大会口頭発表 25 題(学生 14, 一般 11) ポスター発表 16 題(学生 8, 一般 8)

2) 研究会の開催

地域シンポジウム 例会 3回

3)会議の開催

常任理事会 2025年3月8日、6月、10月

理事会 2025年3月9日

評議員会 2025年3月9日

編集委員会 数回

学術委員会 数回

4) 学会誌の発行

第 70 号発刊 2 月 550 部

第 71 号発刊 7 月 550 部

第 72 号発刊 12 月 550 部

動物観研究 30 号 12 月 550 部

< 5 号議案> 2025 年次予算(案)

2024年12月31日現在

I、収入の部

(単位:円)

| 科目 | 2025年次予算 | 2024年次決算 | 決算比* | 備考 |
|---------|-----------|-----------|------|------------------|
| 一般•学生会費 | 3,560,000 | 2,550,000 | 140% | 一般会員427名、学生会員48名 |
| 賛助·法人会費 | 250,000 | 160,000 | 156% | 賛助3、法人5 |
| 大会参加費 | 800,000 | 866,000 | 92% | 大会参加費 |
| 出版物売上 | 20,000 | 111,500 | 18% | 学会誌販売 |
| 別刷費 | 0 | 0 | 1 | |
| 雑収入 | 0 | 122,430 | 1 | |
| 預貯金利子 | 0 | 0 | - | |
| 当期収入合計 | 4,630,000 | 3,809,930 | 122% | |
| 前期繰越額 | 1,801,193 | 1,452,884 | 124% | 年度末資産残高から |
| 収入の部合計 | 6,431,193 | 5,262,814 | 122% | (当期収入合計+前期繰越額) |

Ⅱ、支出の部

| 科目 | 2025年次予算 | 2024年次決算 | 決算比 | 備考 |
|------------------|-----------|-----------|------|---------------------------|
| 学会誌制作·印刷·封入発送作業費 | 1,600,000 | 1,333,585 | 120% | 学会誌67·68·69号及び動物観研究Vol.29 |
| ホームページ作成費 | - | 330,000 | - | 学会ホームページ新規リニューアル作成費用 |
| 小計 | 1,600,000 | 1,663,585 | 96% | |
| | | | | |
| 大会費 | 500,000 | 496,734 | 101% | 講演料・会場費・アルバイト代・備品等 |
| 地域シンポジウム・月例会費 | 150,000 | 57,526 | 261% | 講演料・会場費・交通費 |
| IAHAIO年会費 | 100,000 | 98,506 | 102% | IAHAIO年会費 |
| 小計 | 750,000 | 652,766 | 115% | |
| | | | | |
| 通 信 費 | 90,000 | 89,980 | 100% | HP管理費、サーバー利用料 |
| 郵 送 費 | 10,000 | 0 | - | 請求書等郵送(宅急便も含む) |
| 小計 | 100,000 | 89,980 | 111% | |
| | | | | |
| 人 件 費 | 600,000 | 900,000 | 67% | 事務局委託費 |
| 旅費交通費 | 250,000 | 151,660 | 165% | 理事会交通費 |
| 事務費 | 10,000 | 0 | - | 事務用品、コピー代を含む |
| 雑 費 | 10,000 | 3,630 | 275% | 振込手数料等 |
| 小計 | 870,000 | 1,055,290 | 82% | |
| 当期支出合計 | 3,320,000 | 3,461,621 | 96% | |
| 次期繰越額 | 3,111,193 | 1,801,193 | 173% | |
| 支出の部合計 | 6,431,193 | 5,262,814 | 122% | |

*決算に対する予算額(%)

<6号議案> その他